

薬剤師の地域連携

昨年 2019 年 11 月 2 日に、東灘地域の保険薬局・病院の薬剤師の方々と交流会を開催いたしました。

当院が 2019 年 7 月より外来患者様の処方箋に検査値を添付したのがきっかけでした。検査値がなぜ重要か？保険薬局の薬剤師の方々は、薬と患者さんの情報でどのような病気か推測しますが、検査値を見る事により、薬の量・のみ方を更に最適にするため当院医師へ問い合わせをし、より安全で効果的な薬の使い方を提案してくれます。

当院が検査値を添付することになった為、より顔の見える関係を築こうと開催しました。

先ず、遠山院長から「医療安全と基礎知識」の講演をしていただき、その後、3つの班に分け、当院医師3名(遠山医師・瀧本医師・大槻医師)がそれぞれ薬剤師のグループに入り日頃の疑問や検査値の事、問い合わせの方法等を意見交換しました。

感想からは、「医師の方と日頃尋ねる事が出来ない事が聞けた」「医師の考え方が聞くことが出来て非常に有意義な時間だった。」「顔の見える関係性は非常に大切だと感じた」「今後も定期的に続けてほしい」「患者さんの治療をサポートする上で大変学習できた」「日頃、薬剤師の方々が日々どのような事を大切に仕事されているのかよく分かった。(当院医師)」等、非常に好評でした。

今後も地域の皆様のより良い安全で安心な医療を行う為、当院と保険薬局との連携を強化し、顔の見える関係性を築いていきたいと思います。

